

高額療養費制度がこの8月に見直され自己負担額が増えることになります。さらにはOTC類似薬について一部自己負担額を増やすことがこの間の国会でも了承されました。これらはいずれも現役世代の負担軽減と限られた財源の重点化を狙った苦渋の選択と言えますが、このように医療費の自己負担増が求められる中で、皮膚科領域における薬剤の保険外しの危機が現実味を帯びてきているように思います。

一方で、こうした自己負担の増大は、必要な受診を控える受診抑制を招き、結果として病状の重症化や将来的な医療費のさらなる高騰という本末転倒な事態を引き起こすリスクを孕んでいます。誰もが等しく適切な医療を受けられる国民皆保険制度を、今後も持続可能な形で維持していくためには、単なる国民への負担増の押し付けではなく、構造的かつ抜本的な施策が求められます。医療の質を落とさずに無駄な支出を省くことが急務と考えます。

まず、近年の高薬価薬剤の価格が適正であるか費用対効果の検証を徹底していくことです。皮膚科領域でもいくつか検討され実際薬価が下げられたものもありました。開発費用がかさむため抗体製剤等が高薬価になることはやむを得ませんが、それにしてもニュースをみて高すぎると感じるのは私だけでしょうか。ジェネリック医薬品・バイオシミラーのさらなる普及は避けて通ることはできないでしょう。それでも先日、ある外資系製薬会社社長が日本は欧米に比べて薬価が低めに設定されるため、日本が先行すると海外の薬価決定に悪影響を及ぼしかねないで日本を治験の対象から外す動きは加速するだろうとの発言があり、それも困るなと思いました。円安もありますが、日本では未承認のJAK阻害外用薬の海外での販売価格は、1gあたり約5,000円以上もするそうです。タクロリムス外用薬は1g100円以上ですが、日本のジェネリック医薬品の4倍くらいになります。

公的資金を投入する保険医療制度の遵守のために医療者患者双方のモラル意識の向上も不可欠です。皮膚科では保険診療と自由診療の境界があいまいであり、本来保険が適用されない美容目的の治療について保険請求することは慎まなければなりません。最近大きな問題となりつつあります。皮膚科医としての矜持が求められ、適正な診断と治療は当然のこと、保険制度への理解と同時に医学上の常識に基づく保険請求をすべきです。患者自身も保険制度に対する理解を深める必要があります。

国民への負担増を求めるのであれば、国や保険者は医療の無駄を極限まで削る姿勢を示さねばなりません。国民の健康を守りつつ制度を維持するためには、痛みを伴う改革と同時に、納得感のある公平な制度設計が今まさに強く求められています。

(五十嵐敦之)

— 顧問 —

大原 國章 大塚 藤男 相馬 良直

— 編集委員 —

土田 哲也 五十嵐敦之 林 伸和 佐伯 秀久 菅谷 誠

「皮膚科の臨床」第68巻 第8号 7月号 2026年7月1日発行（毎月1回1日発行） 定価 3,300 円（本体 3,000 円＋税 10%） 年間購読料金 定価 51,480 円（本体 46,800 円＋税 10%） 〔年間13冊（臨時増刊号、増大号を含む）の誌代〕 〔年間予約購読者に限り送料無料〕	発行所 金原出版株式会社 発行者 前田 達也 〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14 TEL 03(3811)7165〔編集室直通〕 TEL 03(3811)7184〔営業部直通〕 FAX 03(3813)0288 ホームページ www.kanehara-shuppan.co.jp 印刷所 三報社印刷株式会社 TEL 03(3637)0005 広告申込先 (株)文京メディカル TEL 03(3817)8036
--	--

- ・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。
- ・教育機関、医療機関、企業などにおいて本誌を無断で複製すること（コピー、スキャン、デジタルデータ化など）は「私的使用」など著作権法上の限られた例外にはあらず、違法となります。また、限られた例外に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して複製を行うことは違法となります。
- ・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞
本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、E-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。
- ・本誌をAI（人工知能）分野に関する用途で許諾を得ずに利用する行為は、当社の利益を不当に侵害する可能性があります。必ず事前に当社までお問い合わせください。